

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 9月 13日

事業所名 きらめき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	スペースを十分確保している。最大限生かすように活用できるプログラムの立案をします。	クールダウン・学習・活動と目的に合わせた空間の活用をさらに改善していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	3	安心・安全のため職員配置は有資格者、児童指導員とスキルの高い職員を配置しています。	安心・安全確保のため待ち受けの職員を1~2名残れる体制作りが必要と感じています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7	階段はトラロープで安全面は補充しています。	2階入り口までの階段の昇降は指導員と手を繋ぎ行っています。雨天時は指導員が傘をさし横に付き添いながら手をつなぎ移動するように配慮していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	毎日の打合せでPDCAサイクルを活用し指導員が周知しています。	PDの後のCAで足りていない部分を工夫し改善を継続していきます。そのための全職員のスキルアップが必要です。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	今年度で3年目に入りました。昨年続きアンケートを実施しました。	回答率をあげ保護者の意向に留意していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	令和2年度より当社ホームページにて公開しております。	令和3年度も引き続き当社ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	今年度より第三者委員会を立ち上げました。	今年度、第三者委員会による評価を行いたいと考えております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	月1回、会社独自の研修会を設けています。	外部研修への参加が多くないので外部研修へ行きやすい体制を整える必要があります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	児童発達支援管理責任者を中心に支援会議を行い個別支援計画を作成しています。	日々の支援記録や個人ファイル、保護者様への報告、連絡、相談等を共有し計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	活動プログラムを充実させるために児童の発達課題やニーズを把握した上で随時職員間で話をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	個別プログラムは発達段階に応じてプログラムを変化させています。	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	長期休暇ではその日のイベントを設定し取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	支援開始前に支援の内容や役割分担・タイムスケジュール等職員間で打合せしています。	毎日の体制表、業務日誌の作成で個々にも打合せをしております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	送迎終了後、緊急対応や必要事項はその日のうちに打ち合わせをしています。	積み残した問題点や課題については次の日に必ず打ち合わせを行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	個別で行った日々の支援記録をその日の内に記録している。	支援記録の書き方等を研修の項目に入れ、日々の支援の検証・改善につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	半年に一度定期的に行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0		ガイドラインを全指導員で周知し、支援に生かしております。さらに工夫をしていきたいと考えております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	担当者や子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	学校や保護者様と情報を共有し連絡調整を行っています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる手法で学校、保護者様と連絡・連携を密にしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	8		現在医療的ケアが必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3		新規利用者様に関して、契約時に就学支援シート等で可能な限り情報の共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	8		現在、該当者はおりません。今後、障害福祉サービスへ移行する場合は情報の提供をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	児童発達支援センターや社会福祉協議会と連絡連携を図り助言をいただいています。	児童発達支援センターや社会福祉協議会の主催する研修に可能な限り参加いたします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6	外遊びで公園に行ったときに交流の機会がありました。	コロナ禍の為、意図的な交流は控えています。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6		コロナ禍の為、積極的には参加していません。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	連絡時には課題のみならず、よいところを必ず伝えるように心がけています。	送迎時、電話、メール等、あらゆる機会を通じて、保護者様と連絡・連携をさらに密にし発達の状況や課題について共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5	送迎時、利用者様の状況を伝える際に効果的な具体的な支援方法や、言葉の掛け方などを伝えたり保護者様への支援を行っています。	コロナ禍の為、マニュアルを使用しているペアレントトレーニングは行っていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	運営規程、支援の内容、利用者負担等については契約時に丁寧な説明を行っています。	変更があればその都度説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	保護者様から子育ての悩み等の相談をしやすい環境づくりに努めています。	保護者様から子育ての悩み等に対する相談に対して効果的だった具体的な支援方法や言葉の掛け方など助言・支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		コロナ禍でするので事業所として保護者会は開催していませんが保護者様からの要望があれば検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	報告・連絡・相談を常日頃から密に行うよう心がけています。	苦情やトラブルに関してはその日の内に職員間で共通理解し迅速に対応するように努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		お誕生日カードでの写真や毎月の活動予定表を発行しています。活動記録等、会報やホームページを利用し発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	写真使用に関して承諾書を提出いただき、個々の条件によって対応しています。	個人情報の取り扱いについては保護者様に契約時に説明させていただいた上、記名、捺印いただいております。職員に対しても採用時に誓約書を作成し同意いただいております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	絵カードやホワイトボード等を活用し視覚支援を心がけています。	障がいのある保護者様に対しては視覚支援はもちろん、メール等を活用しながら情報伝達に配慮していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8		コロナ禍の為、行っておりません。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	7		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、全職員に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2	年に2回行うよう活動計画にも入れています。	定期的な避難計画を作成し定期的に避難訓練を実施します。消防署とも連携を図り実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	月1回の研修会の他に必要に応じて会議を設けています。	外部、内部研修を通して共通理解を図り、利用者様に対して丁寧な対応を心がけています。

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	やむを得ず一時的に身体拘束を行うかについて、保護者様には契約時に説明しております。	職員間ではやむを得ず一時的拘束をする場合について、日々の支援を振り返り、随時、共通理解を図っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	食べ物は基本、各ご家庭で用意をしていただいています。	アレルギー一覧表を作成し、全職員で共有いたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハット事例は記録に残しています。	職員全体で情報共有し再発防止に努めます。